

# 『真光寺川 里親の会』 通信

12月号 一通算第141号

2012年12月9日

## カモの不思議な生態

10月号に冬鳥のコガモが飛来したと報告致しました。その後オナガガモ、オカヨシガモも広袴調整池に見られるようになりました。例年観察できるマガモ、ハシビロガモは未だです。来たばかりの時は雌雄の区別がハッキリしなかった羽色も美しいオスと茶色のメスと識別できるようになりました。このカモ達の姿・形は10月号や第97号(2009年4月)をご覧ください。

カモ類は年2回換羽を行います。晩秋から翌年の初夏にかけて美しい繁殖羽をしています。夏には又羽が生え変わってメスに似た地味な羽色となり、特にエクリップスと呼ばれています。

なぜオスはきれいな羽色をしているのだろうか？実はこの問いに対する仮説は「進化論」を表したダーウィンが最初に唱えています。それは、つがい相手を選ぶ時に、メスがきれいなオスを選び、それが何世代も続いた結果、オスがきれいになったという説です。



オナガガモのエクリップス

目立つ色をしたり、邪魔な飾羽があっても、天敵から逃れて生き延びてきた強いオスということでメスから選ばれたようです。羽色がきれいになったことで、ダンスなどの求愛行動でより美しい羽色を誇示できるようになります。一方、メスが地味なのは主に抱卵や育雛を行うためで、営巣している藪や草地に溶け込んで目立たないようになっています。雌雄共同で抱卵する種でも、オスはメスに餌を運んだり、巣の周辺で外敵などが近づかないように警戒していることが多いそうです。

カモ類は便宜的に淡水ガモ類、海ガモ類、アイサ類に分けられています。この中海ガモ類とアイサ類は潜水して魚などを捕食しています。淡水ガモ類にはいくつかの採食方法があります。代表的な採食方法としては「ついでみ」「水面採食」「頸まで水中に入れる」「逆立ち」「こそげ取り」などが知られています。「ついでみ」は地上や岸辺に生える草を嘴でついでんで食べる方法でカルガモ、マガモ、コガモ、ヨシガモなど多くの種で見られます。「水面採食」は水面に浮いている有機物を食べるもので、トモエガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモなどが見られますが、ハシビロガモはこの採食方法にもっとも特化したカモ類として知られています。「頸まで水中に入れる」のは、マガモやカルガモなど浅瀬の水草や水草の先端を食べるカモ類で見られます。



オナガガモの逆立ち

「こそげ取り」はイネ科植物を横ぐわえにし、種子をこそぐように食べる方法でカルガモでよく見られます。

カモのオスが頭を上げ下げしたり、体を反らしたり、尾羽を差し上げたりと普段と違う行動をしていることがあります。これは求愛のディスプレイで、日本でつがい相手を決め渡去します。(文、写真とも野鳥世界より転載、山本記)



オナガガモの求愛

## 「麻生総合高等学校—真光寺川清掃体験」同行記

例年開催されている麻生総合高等学校 1 年生の真光寺川清掃体験学習会は 11 月 15 日

(木) 午前 9 時 40 分から始まりました。参加者は小川先生と事務担当者、生徒 21 名。最初に山本会長から本日の予定の説明と学校担任小川先生の挨拶がありました。山口会員から「真光寺川を清流にする会」の発足以来の活動説明があり、その中で地域を代表する真光寺川を清流にして子供たちが川遊びが出来るように努めていること、続いて山岡会員から、真光寺川に生息する魚たちの話を写真で説明、続いて山本会長から広袴調整池に飛来する渡り鳥やここをねぐらにして生息する鳥たちの四季の活動について説明しました。多くの魚や鳥たちが生息していることに生徒たちは感心した様子でした。その後、真光寺川を下り下堰親水に集合し、近くから川に降りてゴミ拾いの体験学習を開始しました。ゴミはこの日は思ったより少なかった。11 時 30 分にいちよう会館に集合し食事ながら、生江会員から「川と森と魚の関係」について説明をしました。川は最終的には海に注ぎ、川に棲む魚として海に棲む魚たちを育てる栄養分を運ぶ役割をしている。従って川をクリーンにして流れ出る水を綺麗にすることが私たち、一人ひとりが心がける大切なことであることを、本日の体験学習で感じ取ってほしいと締めくくって 12 時 30 分に予定通り終了しました。



生江透 記

### 11月の清掃報告

11月11日は風もない曇りの清掃日でした。この日は11名と参加者が少なかったため、下流域の清掃を断念し矢崎橋から上流域を清掃しました。回収したのはゴミ14袋、自転車3台。傘1本、ハンガー多数でした。川の様子は濁っていて全体が黒ずんで見えました。また権現橋と能ヶ谷橋間には、川岸の木が川幅を覆い、歩ける部分の川の深さは胸まであり、危険を感じました。川を覆う木を切ってほしいと切に思いました。魚は権現橋上流で大きなナマズを1匹見ましたが、小魚はあまり見かけませんでした。

### メダカポスト

11月はメダカポスト、一木会寄付、山口さんと和光鶴小（出前講座謝礼）寄付など合計で5,983円ありました。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

### 1月13日（日）境川に沿って町田から鶴間公園まで散策予定

1月の例会は新年会を兼ね、境川散策を予定しています。行程は鶴川駅→町田駅→境川に沿って鶴間公園まで散策します（約4.6km、1時間30分程度）。鶴間公園でのんびり森林浴を楽しんだ後、そばの南町田駅の近くで中華バイキングでの新年会（飲み物含めて2000円程度）を予定しています。昼食後は解散。すぐそばのグランベリーモールという町田市内一のショッピング・アウトレットモールでショッピングするのも楽しい。帰りは南町田（田園都市線）→中央林間（小田急線乗換）→鶴川が便利です。参加される方は1月6日（日）迄に黒田（042-708-4269、[takeo\\_kuroda@nifty.com](mailto:takeo_kuroda@nifty.com)）までご連絡ください。

集合：鶴川駅前 10時00分（時間厳守） 解散：午後2時ごろ

一般の方々のご参加を歓迎いたします。一緒に散策しませんか。

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山本隆治 町田市広袴3-24-11 e-mail [ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp](mailto:ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp)

事務局：町田市能ヶ谷7-32-10 黒田健夫 Tel/Fax 042-708-4269 e-mail [kawasemi@shinkojigawa.com](mailto:kawasemi@shinkojigawa.com)